

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社

上場取引所 東

コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット ジェネラルマネージャ (氏名) 板野 和彦

TEL 03-5572-0233

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	681,899	10.7	378,795	12.8	365,495	13.9	90,108	11.7
22年3月期第3四半期	615,979	△33.2	335,755	△44.1	320,774	△42.9	80,690	△42.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	30,014.30	—
22年3月期第3四半期	34,285.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,587,891	2,050,949	75.6	535,663.08
22年3月期	2,013,778	1,490,603	68.9	589,548.88

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,955,649百万円 22年3月期 1,387,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2,500.00	—	3,000.00	5,500.00
23年3月期	—	3,000.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3,000.00	6,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	888,000	5.7	488,000	5.7	479,000	8.4	120,000	11.9	38,072.35

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 3,655,810株 22年3月期 2,358,410株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 4,916株 22年3月期 4,916株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 3,002,194株 22年3月期3Q 2,353,494株

（注）甲種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は4ページを参照してください。

平成22年8月2日を払込期日とする公募増資により普通株式1,216,000株を発行しております。また、平成22年8月31日を払込期日とする、オーバーアロットメントによる売出しに関連して行われた野村証券株式会社を割当先とする第三者割当増資により普通株式81,400株を発行しております。平成23年3月期の業績予想に記載の通期の1株当たり当期純利益は、上記公募増資等による株式の増加を含めて算出される期中平均株数3,151,894株により計算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報等.....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	14
4. 参考情報.....	15
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は前年同期と比べ油価高・ガス価高が寄与して売上高は前年同期比65,920百万円、10.7%増の681,899百万円となりました。このうち原油売上高は前年同期比41,227百万円、11.5%増の400,963百万円、天然ガス売上高は前年同期比24,059百万円、10.2%増の260,794百万円となりました。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比348千バレル、0.6%増加の58,085千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比12,262百万立方フィート、4.0%減少の297,809百万立方フィートとなりました。このうち、海外生産天然ガスは、前年同期比12,558百万立方フィート、4.7%減少の254,637百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比8百万立方メートル、0.7%増加の1,157百万立方メートル、立方フィート換算では43,172百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外生産原油売上の平均価格が1バレル当たり78.78米ドルとなり、前年同期比12.70米ドル、19.2%の上昇となりました。海外生産天然ガス売上の平均価格は千立方フィートあたり8.65米ドルとなり、前年同期比1.40米ドル、19.3%の上昇となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートルあたり43円15銭となり、前年同期比6円46銭、17.6%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル86円96銭となり、前年同期比6円38銭、6.8%の円高となりました。

売上高の増加額659億円を要因別に分析しますと、販売数量の減少により35億円の減収要因、販売単価の上昇により1,135億円の増収要因、為替は円高により447億円の減収要因、その他の売上高は6億円の増収要因となりました。

一方、売上原価は、主に国内における天然ガス買入高の増加や、ヴァンゴッホ油田の生産開始に伴う減価償却費の増加により前年同期比26,110百万円、11.9%増の244,882百万円となりました。探鉱費は主に米州の探鉱活動が増加したものの、国内の探鉱活動が減少したことにより、前年同期比1,614百万円、14.3%減の9,707百万円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比1,615百万円、3.2%減の48,514百万円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比43,039百万円、12.8%増の378,795百万円となりました。

営業外収益は、持分法による投資利益や持分変動利益の増加により、前年同期比7,020百万円、66.3%増の17,616百万円となりました。営業外費用は、為替差損が減少したものの、探鉱活動の増加やイランのアザデガン油田からの撤退を受けて、投資額に対して保守的な観点から全額引当を行ったこと、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したこと等により前年同期比5,339百万円、20.9%増の30,915百万円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比44,721百万円、13.9%増の365,495百万円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比23,832百万円、10.2%増の257,766百万円、法人税等調整額は10,394百万円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は97,334百万円となりました。少数株主利益は7,225百万円となり、以上の結果四半期純利益は前年同期比9,418百万円、11.7%増の90,108百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。当四半期の報告セグメントおよびセグメント利益の算定方法は、前年同期の所在地別セグメント情報の算定方法と同一であることから、前年同期の所在地別セグメント情報との比較を記載しております。

①日本

天然ガスの販売量の増加や単価の上昇により、売上高は前年同期比8,215百万円、12.8%増の72,531百万円、営業利益は天然ガス買入高が増加したことにより前年同期比5,702百万円、27.1%減の15,356百万円となりました。

②アジア・オセアニア

為替が円高に推移したものの、原油販売量の増加や油価及びガス価の上昇により、売上高は前年同期比44,653百万円、16.9%増の309,029百万円、営業利益は前年同期比40,579百万円、29.0%増の180,503百万円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

油価が上昇したものの、ACG油田における原油販売量の減少、および為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比2,877百万円、5.8%減の46,855百万円、営業利益は前年同期比3,078百万円、11.4%減の23,925百万円となりました。

④中東・アフリカ

油価上昇に伴い、売上高は前年同期比17,612百万円、7.8%増の242,665百万円、営業利益は前年同期比13,628百万円、8.9%増の166,846百万円となりました。

⑤米州

売上高は前年同期比1,683百万円、13.5%減の10,818百万円、探鉱費の増加により営業損失は1,449百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,587,891百万円となり、前連結会計年度末の2,013,778百万円と比較して574,113百万円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、投資有価証券が483,284百万円増加したほか、ACG鉱区参加権益を追加取得したこと等により無形固定資産が12,839百万円増加、また、カシヤガン油田等への投資により生産物回収勘定が36,080百万円増加したことによります。

一方、負債は536,941百万円で、前連結会計年度末の523,175百万円と比較して13,766百万円の増加となりました。このうち流動負債は223,267百万円で、前連結会計年度末比4,637百万円の減少、固定負債は313,674百万円で、前連結会計年度末比18,404百万円の増加となりました。

純資産は2,050,949百万円となり、前連結会計年度末比560,346百万円の増加となりました。純資産増加の内訳は、新株式発行及び株式売出しにより資本金が260,809百万円、資本剰余金が260,809百万円増加したことによります。また、少数株主持分は95,300百万円で、前連結会計年度末比7,802百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の216,395百万円から当第3四半期中に減少した資金15,661百万円を差し引いた200,733百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比10,254百万円増の188,443百万円となりました。これは、主に油価上昇に伴う税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比555,545百万円増の726,930百万円となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が増加したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比498,101百万円増の536,612百万円となりました。これは、株式の発行による収入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期連結通期業績予想については、平成23年3月期第3四半期連結累計期間の実績を加味し、さらに第4四半期の原油価格の前提等を見直した結果、平成22年11月4日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

連結通期業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	835,000	438,000	420,000	102,000
今回修正予想（B）	888,000	488,000	479,000	120,000
増減額（B－A）	53,000	50,000	59,000	18,000
増減率（％）	6.3	11.4	14.0	17.6

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期(実績)	78.2ドル/バレル	上期(実績)	78.2ドル/バレル
	下期	77.5ドル/バレル	下期 ※1	86.2ドル/バレル
	通期平均	77.9ドル/バレル	通期平均	82.2ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期(実績)	89.0円/ドル	上期(実績)	89.0円/ドル
	下期	80.0円/ドル	下期 ※2	81.3円/ドル
	通期平均	84.5円/ドル	通期平均	85.1円/ドル

※1 第3四半期実績 87.3ドル/バレル、及び第4四半期予想 85.0ドル/バレルによる。

※2 第3四半期実績 82.6円/ドル、及び第4四半期予想 80.0円/ドルによる。

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これに伴い、従来、今後発生する廃鉱費用に備えるため、廃鉱計画に基づき計上していた廃鉱費用引当金は全額取崩しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は15百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,185百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,305百万円であります。

②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,926	119,809
受取手形及び売掛金	80,418	88,364
有価証券	224,885	213,040
たな卸資産	13,540	12,322
その他	72,641	59,340
貸倒引当金	638	22
流動資産合計	503,774	492,854
固定資産		
有形固定資産	366,943	358,094
無形固定資産		
のれん	103,052	108,122
その他	148,991	131,082
無形固定資産合計	252,044	239,205
投資その他の資産		
投資有価証券	887,262	403,978
生産物回収勘定	550,726	514,645
その他	158,823	115,781
貸倒引当金	597	640
生産物回収勘定引当金	114,242	94,891
探鉱投資引当金	16,843	15,248
投資その他の資産合計	1,465,129	923,624
固定資産合計	2,084,117	1,520,923
資産合計	2,587,891	2,013,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,161	16,601
短期借入金	4,823	4,872
未払法人税等	90,063	86,534
探鉱事業引当金	10,272	15,324
役員賞与引当金	114	132
資産除去債務	2,249	-
その他	97,583	104,440
流動負債合計	223,267	227,905
固定負債		
長期借入金	253,988	235,510
退職給付引当金	7,013	7,585
廃鉱費用引当金	-	14,257
開発事業損失引当金	-	1,964
特別修繕引当金	455	442
資産除去債務	9,443	-
その他	42,773	35,508
固定負債合計	313,674	295,269
負債合計	536,941	523,175

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	30,000
資本剰余金	679,287	418,477
利益剰余金	1,008,840	936,744
自己株式	5,248	5,248
株主資本合計	1,973,689	1,379,974
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	554	12,351
為替換算調整勘定	17,486	4,826
評価・換算差額等合計	18,040	7,525
少数株主持分	95,300	103,103
純資産合計	2,050,949	1,490,603
負債純資産合計	2,587,891	2,013,778

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	615,979	681,899
売上原価	218,772	244,882
売上総利益	397,207	437,016
探鉱費	11,322	9,707
販売費及び一般管理費	50,129	48,514
営業利益	335,755	378,795
営業外収益		
受取利息	3,303	2,987
受取配当金	3,235	3,143
持分法による投資利益	-	3,576
持分変動利益	-	3,644
その他	4,056	4,264
営業外収益合計	10,595	17,616
営業外費用		
支払利息	864	816
持分法による投資損失	941	-
生産物回収勘定引当金繰入額	3,170	12,667
探鉱事業引当金繰入額	4,420	3,411
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,555
為替差損	10,122	1,920
その他	6,056	10,545
営業外費用合計	25,576	30,915
経常利益	320,774	365,495
税金等調整前四半期純利益	320,774	365,495
法人税、住民税及び事業税	233,933	257,766
法人税等調整額	1,407	10,394
法人税等合計	232,525	268,160
少数株主損益調整前四半期純利益	-	97,334
少数株主利益	7,558	7,225
四半期純利益	80,690	90,108

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	320,774	365,495
減価償却費	29,947	42,362
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,555
のれん償却額	5,068	5,070
生産物回収勘定引当金の増減額(は減少)	5,568	19,737
探鉱事業引当金の増減額(は減少)	3,147	4,846
退職給付引当金の増減額(は減少)	484	559
廃鉱費用引当金の増減額(は減少)	171	-
その他の引当金の増減額(は減少)	3,774	2,191
受取利息及び受取配当金	6,539	6,130
支払利息	864	816
為替差損益(は益)	1,628	4,110
持分法による投資損益(は益)	941	3,576
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	35,572	34,607
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	8,863	12,165
売上債権の増減額(は増加)	23,375	3,699
たな卸資産の増減額(は増加)	5,033	1,613
仕入債務の増減額(は減少)	1,157	1,977
未収入金の増減額(は増加)	23,003	7,834
未払金の増減額(は減少)	27,611	14,145
その他	8,653	13,581
小計	387,306	437,239
利息及び配当金の受取額	7,963	8,112
利息の支払額	1,362	799
法人税等の支払額	215,717	256,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,188	188,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6,321	460
定期預金の払戻による収入	2,774	3,881
長期性預金の預入による支出	-	53,500
有形固定資産の取得による支出	68,515	63,456
有形固定資産の売却による収入	80	151
無形固定資産の取得による支出	735	752
有価証券の取得による支出	-	8,180
有価証券の売却による収入	77,320	74,000
投資有価証券の取得による支出	86,765	599,878
投資有価証券の売却による収入	-	10,158
生産物回収勘定(資本支出)の支出	75,694	60,399
短期貸付金の増減額(は増加)	36	466
長期貸付けによる支出	6,232	1,124
長期貸付金の回収による収入	23	562
権益取得による支出	-	27,820
その他	7,355	578
投資活動によるキャッシュ・フロー	171,385	726,930

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	521,619
短期借入金の純増減額(は減少)	26,226	-
長期借入れによる収入	29,741	44,298
長期借入金の返済による支出	3,667	3,235
少数株主からの払込みによる収入	1,720	4,436
配当金の支払額	15,308	18,030
少数株主への配当金の支払額	81	12,397
その他	118	78
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,511	536,612
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,707	13,791
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	39,607	15,666
現金及び現金同等物の期首残高	162,844	216,395
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4
現金及び現金同等物の四半期末残高	202,452	200,733

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める石油・天然ガス関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ユーラシア (欧州・ NIS諸国) (百万円)	中東・ アフリカ (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	64,315	264,376	49,733	225,052	12,502	615,979	—	615,979
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	64,315	264,376	49,733	225,052	12,502	615,979	—	615,979
営業利益	21,059	139,923	27,004	153,218	798	342,003	(6,248)	335,755

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・オセアニア……………インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム
- (2) ユーラシア(欧州・NIS諸国)…アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス
- (3) 中東・アフリカ……………アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、
アルジェリア、アンゴラ
- (4) 米州……………ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、
スリナム、ブラジル

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	アジア・オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	204,393	38,715	243,108
II 連結売上高(百万円)			615,979
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	33.2	6.3	39.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア・オセアニア…韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、インド、
オーストラリア、中国、フィリピン
- (2) その他の地域……………アメリカ合衆国、イタリア

3 海外売上高は、本邦以外の国又は地域向け売上高であり、最終仕向地を基準としております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの石油・天然ガス開発事業は、取締役会がグループ経営上の重要な意思決定を、分離された財務情報が入手可能な鉱区等の単位で行っております。当社はグローバルに石油・天然ガス開発事業を展開していることから、鉱区等を地域ごとに集約して、「日本」、「アジア・オセアニア」（主にインドネシア、オーストラリア、東チモール）、「ユーラシア（欧州・NIS諸国）」（主にアゼルバイジャン）、「中東・アフリカ」（主にアラブ首長国連邦）及び「米州」を報告セグメントとしております。各報告セグメントでは石油・天然ガスの生産を行っております。また、「日本」セグメントでは石油製品等の販売も行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア(欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	72,531	309,029	46,855	242,665	10,818	681,899	—	681,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	72,531	309,029	46,855	242,665	10,818	681,899	—	681,899
セグメント利益又は損失(△)	15,356	180,503	23,925	166,846	△1,449	385,182	△6,387	378,795

(注) 1 セグメント利益の調整額△6,387百万円は、セグメント間取引消去174百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,561百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

当社は、平成22年8月2日を払込期日とする公募増資及び平成22年8月31日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が260,809百万円、資本準備金が260,809百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が290,809百万円、資本剰余金が679,287百万円となっております。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

前第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
石油・天然ガス 関連事業	原油	60百万バレル (日量217千バレル)
	天然ガス	306十億CF (日量1,114百万CF)
	小計	111百万BOE (日量403千BOE)
	石油製品	180千kl (1,133千バレル)
	ヨード	322t
	発電	88百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
 2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
 3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
 4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月31日の実績となっております。
 5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油92百万バレル(日量334千バレル)、天然ガス409十億CF(日量1,488百万CF)、合計160百万BOE(日量582千BOE)となります。なお、権益比率ベースのガス生産量は、2009年3月期までは、井戸元(セパレーター分離後)で計量された鉱区100%ベースの生産量を用いて算出しておりましたが、2010年3月期より、買主への販売に対応した数量(契約内容でも異なりますが、基本的に井戸元(セパレーター分離後)の数量から、自家消費分、圧入分、フレア分、放散分、プラントにおける不活性ガス等を差し引き、さらに性状調整を考慮した数量)を用いて算出しております。
 6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
 7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
 8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 9 数量は単位未満を四捨五入しております。

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
日本	原油	1.0百万バレル (日量3.5千バレル)
	天然ガス	30.8十億CF (日量111.9百万CF)
	小計	6.1百万BOE (日量22.2千BOE)
	石油製品	177.8千kl (1,118.1千バレル)
	ヨード	324.0t
	発電	128.0百万kWh
アジア・オセアニア	原油	19.5百万バレル (日量71.0千バレル)
	天然ガス	246.8十億CF (日量897.5百万CF)
	小計	60.7百万BOE (日量220.6千BOE)
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	7.7百万バレル (日量28.2千バレル)
中東・アフリカ	原油	36.3百万バレル (日量132.2千バレル)
米州	原油	2.1百万バレル (日量7.5千バレル)
	天然ガス	23.0十億CF (日量83.7百万CF)
	小計	5.9百万BOE (日量21.5千BOE)
合計	原油	66.7百万バレル (日量242.4千バレル)
	天然ガス	300.6十億CF (日量1,093.1百万CF)
	小計	116.8百万BOE (日量424.6千BOE)
	石油製品	177.8千kl (1,118.1千バレル)
	ヨード	324.0t
	発電	128.0百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
 2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
 3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
 4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月31日の実績となっております。
 5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油95.4百万バレル(日量347.0千バレル)、天然ガス406.3十億CF(日量1,477.5百万CF)、合計163.1百万BOE(日量593.2千BOE)となります。
 6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
 7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
 8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 9 数量は単位未満を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

- a) 当社グループは海外で生産された原油のうち当社取得権利量を、国内の精製会社をはじめ、国内外の需要家へ販売しております。インドネシアで生産された天然ガスのほとんどはプルトミナを通じ、主にLNGとして日本の電力会社、都市ガス会社や、韓国、台湾等の需要家に販売しております。国内で生産された天然ガスはパイプラインを経由して沿線の需要家に販売しております。
- b) 前第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメント	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
		石油・天然ガス 関連事業	原油
天然ガス	310,071百万CF		236,735
	LPG: 2,655千バレル		
その他	17,518		
小計	613,989		
その他の事業	1,989		
合計	615,979		

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
- 2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を第3四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
- 3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

c) 当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
		販売量	売上高
日本	原油	74千バレル	556
	天然ガス (LPGを除く)	43,172百万CF	49,918
	LPG	174千バレル	1,915
	その他		20,141
	小計		72,531
アジア・オセアニア	原油	14,804千バレル	104,474
	天然ガス (LPGを除く)	231,571百万CF	187,288
	LPG	2,984千バレル	17,267
	小計		309,029
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	6,627千バレル	46,855
中東・アフリカ	原油	35,559千バレル	242,665
米州	原油	1,022千バレル	6,411
	天然ガス (LPGを除く)	23,066百万CF	4,406
	小計		10,818
合計	原油	58,085千バレル	400,963
	天然ガス (LPGを除く)	297,809百万CF	241,612
	LPG	3,159千バレル	19,182
	その他		20,141
	合計		681,899

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を第3四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
 3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。
 4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プルタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、その過半をLNGとして日本の需要家へ販売しております。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
プルタミナ	178,064	28.9	194,029	28.5